



熊谷守一 つけち記念館

MAP 4-C

熊谷守一を代表する油絵画作品を120点以上収蔵しており、国内最大規模の熊谷守一油絵画収蔵美術館となります。他にも、墨彩画、書、遺品、写真等を展示しております。

中津川市付知町7713 ☎0573-83-0050 〔開館時間〕10:00～17:00 (入館は16:30まで)
〔休館〕月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
〔料金〕大人700円(中学生以下無料) 団体10名以上は100円引き

“画壇の仙人”といわれた熊谷守一は付知町の出身です。



熊谷樞つけちギャラリー

MAP 3-B

熊谷守一の次女である熊谷樞の作品をはじめ、付知町ゆかりの作家作品などを紹介しております。

中津川市付知町4956-52 ☎0573-82-4911 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
〔開館日〕金、土、日曜日、祝日 (https://nakatugawa.info/kaya-kumagai/) 臨時開館日あり、詳しくはHPをご覧ください。
〔料金〕 大人330円(中学生以下無料)

新旧の文化、歴史、アートと出会うまち



道の駅 花街道付知

MAP 4-C

地元農産物の並ぶ直売所や、木工芸品を販売する売店やレストランなどが併設されています。

中津川市付知町8581-1 ☎0573-82-2000
営業時間 売店9:00～18:00、レストラン9:00～17:00
休館 第1・3火曜日(祝日の場合は、翌日) 年末年始
※駐車場・トイレは24時間利用可能。

付知GINZA(商店街)

MAP 4-C

江戸時代より飛騨街道の旅人などの宿場町として栄え、往時の面影を残す古い街並みが所々に残っており、現在も老舗和菓子店や料亭などが店を構えています。また、商店街活性化を目標に活動する付知GINZA会により開催される「付知GINZAマルシェ」は地元の方をはじめ、多くの方で賑わいます。

【付知GINZA会】 <https://www.facebook.com/tsukechiginza>



護山神社

MAP 2-A

1838年に焼失した江戸城西の丸を再建する際に、大量のヒノキを伐採したところ、奇怪な出来事が相次いだことにより、創建されました。大山祇命(山を司る神)、句々廻馳命(木の守護神)、草野姫命(草の神)を祭神としています。境内には、初代大ヒノキの標本が展示されています。

中津川市付知町1594 ☎0573-82-4433



5月3日～5月5日

つけち森林の市 ～木のゴールデンウィーク～

〔道の駅花街道付知 イベント広場〕

森林を愛し、木への感謝を忘れない付知の職人の木工製品・建築・技術を見て、触れて、感じることができます。出来上がった製品だけでなく、素材のままの販売等のイベントが盛りだくさんです。

10月第3土・日

つけち全国 レディース・クラフトフェア

〔道の駅花街道付知 イベント広場〕

全国から、木工や陶芸、革など「ものづくり」が大好きな女性作家が集まるクラフトイベント。趣向を凝らした作品の展示販売のほか、クラフト体験コーナーもあります。



朴葉ずし

山の幸、川の幸を彩りよくのせたずし飯を朴葉で包んだもの。朴葉には殺菌作用があり、農作業の際のお弁当として食べられていました。



五平餅

この地域特有の団子型が特徴の五平餅。クルミやゴマを入れた独特のたれが団子型の五平餅によく絡み、香ばしい匂いが食欲をそそります。

残したい、伝えたい、匠の技。

木工芸品

木の艶、木目を最大限に生かして作り出される木工芸品は、匠の技と木のもつ温かさを兼ね備えています。



ざるまいご飯

付知以外では、なかなか店頭には並ばないきこである「ざるまいご」を使用した炊き込みご飯。ざるまいごは香りがつよく、炊き込みご飯にすることで、より一層香りが引き立ちます。



川魚料理

清流付知川の水で育ったアユやイワナなどの川魚は、臭みが少ないのが特徴です。



栗きんとん

秋の味覚「栗」を使い、一つひとつ丁寧に手作りしています。できたてならではの美味しさをぜひどうぞ。

つけちのイベント

8月13日 花火大会・14日 夢まつり

つけち夢まつり 花火大会

つけち夢まつり MAP 4-C

花火大会 MAP 3-B

〔花火大会 付知川中央橋上流〕
〔夢まつり 道の駅花街道付知 イベント広場〕

13日に行われる花火大会では、7・8号玉を中心に約1,000発を打ち上げます。四方の山々で反響する付知の花火は迫力満点です。14日の夢まつりは、地元特産品販売、アトラクション、ステージイベントなど付知の夏の一大イベントです。



早川写真館提供

お祝いの席にも
欠かせない郷土料理。



付知GINZA会・早川写真館提供

つけちのいいもの

裏本曾の、懐かしい手作り飴

ハッカ糖

付知の人々が昔から親しんでいるハッカ糖。砂糖・水飴・ハッカ油が絶妙に溶け合っており、旅行のお供にはうってつけです。

